

# 漂着物の調査 開催報告

開催日 2020年10月24日（土）

参加人数 10名（子ども 4名、大人 6名）



## 1. 浜松海岸における海ごみの現状

講師 Hamamatsu-浜松の海を守る会 清水浩利氏

“みんなで出来る事を考えよう！”

“現状を知る” “何をしたら地球は救われる？”

① 海岸のごみの状況…草木に絡まって漂着することが多い

② 川の中のごみの状況

③ 海流や沿岸流の作業により国内または海外からの流れ着いたもの

④ 漂着ごみの問題

- ・ 景観が悪い汚い
- ・ 分解しないごみが多い
- ・ 拾えないごみもある
- ・ 海外から漂着・海外へ漂着

⑤ 野生生物への影響



## 2. 漂着ごみの調査 (3グループに分かれて分別作業を行った)

調査ごみの量 約8.95kg 2020年10月4日回収

回収場所 馬込川右岸

ごみ調査 データカード

### ＜調査結果＞

1位 プラスチックシートや袋の破片 396個

2位 硬質プラスチック破片 160個

3位 食品の包装・袋 81個

3位 ロープ・ひも 81個

5位 食品容器(プラスチック) 76個

6位 生活雑貨(歯ブラシ・文具等) 54個



## 3. 小さくなったプラスチックの回収



ごみを拾った後の浜砂などを集めて、ザルやピンセットを使って小さくなったプラスチックを探す体験を行いました。沢山のプラスチックを回収できました。

### ＜参加者の声＞

- ・ たくさんのごみに驚いた。
- ・ データカードの分類に分けるのが大変だった。
- ・ 葉菜2個、釣り糸やルアーなどがあつた。
- ・ ロープやひもは、絡まって取るのが大変だった。
- ・ 小さなプラスチックを探すのが楽しかった。機会があれば、またやりたい。
- ・ ごみを分別後も残った砂などの中に沢山のプラスチックがあつた。

